

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR201C	TCR_プレゼンテーションII_C	
科目名（コード）	TCR201	TCR_プレゼンテーションII_C	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CH2	単位数	2単位30
授業担当者	渋谷里美	時間数	
成績評価教員	渋谷里美	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題でやりとりができるようになる。
全体の内容と概要	時事問題などを中心に現代社会における諸問題を多国籍の学生とのディベートや発表を通して深く多角的な視点で理解し、国際社会の一員としての教養を身につける。
授業時間外の学修	提示されたテーマについて理解を深めるために予習が必須である。
履修上の注意事項等	自身の考えをまとめ、明確に表現するため、積極的に授業に参加する姿勢が必要となる。授業時間内に模擬面接を実施する予定。出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	時事問題① 時事について意見を交換することができる。	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第10回 文法
2	プレゼンテーション① 自身の体験について紹介することができる	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第11回 文法
3	プレゼンテーション② 自身の体験について紹介することができる	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第12回 文法
4	時事問題② 時事について意見を交換することができる。	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第13回 文法
5	時事問題③ 時事について意見を交換することができる。	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第14回 文法
6	時事問題④ テーマに基づいて意見を交換し、発表することができる	総合演習
7	時事問題⑤ 時事について意見を交換することができる。	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第15回 文法
8	時事問題⑥ 時事について意見を交換することができる。	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第16回 文法
9	異文化理解① 文化の違いを理解できる。	異文化について意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第17回 文法
10	異文化理解② 共生するための努力ができる。	相互理解について意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第18回 文法
11	異文化理解③ 日本に関心をもつことができる(1)	日本の伝統について意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第19回 文法
12	異文化理解④ 日本に関心をもつことができる(2)	日本の伝統について意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第20回 文法
13	1年の学習を振り返ることができる	後期のまとめ
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『面接ワークブック』 『20日で合格N1』
参考文献・資料等	適宜配布
備考	進捗は変更になることがあります。水曜日2限